

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立美術館	所管課	学術文化財課
所在地	甲府市貢川 1-4-27	設置年月日 (改築年月日等)	昭和53年11月3日(平成16年3月15日増築)
管理方式	指定管理者(SPS・桔梗屋グループ、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立美術館設置及び管理条例		
設置目的	美術に関する県民の知識及び教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため美術館を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	常設展示室2室(800.83㎡) 特別展示室3室(976.57㎡) 南館展示室5室(1,320.46㎡) 県民ギャラリーA・B・C室(720.14㎡) 総合実習室1室(194.60㎡) 工房(184.59㎡) 美術図書室(63.33㎡)		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 一般展示室及び工房等を一般の使用に供することに関する業務 その他県教育委員会が必要と認める業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	他に県内の美術館は、公立が9館、私立が39館ある。それぞれ各地域の資源を活用した特色ある展示を行っている。
---------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数合計	390,458	348,146	386,906	
目標値	370,000	391,600	391,600	385,500
目標値設定の考え方		美術館の入館者 総数	美術館の入館者 総数	美術館の入館者 総数
対21年度比	100.0%	89.2%	99.1%	98.7%
稼働率	—	—	—	—

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (目標値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	270,001,819	269,881,000	267,808,000	270,646,000
	その他	365,000	394,000	323,000	394,000
	収入合計(A)	270,366,819	270,275,000	268,131,000	271,040,000
支出	人件費	83,377,000	81,553,000	82,709,000	82,241,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	186,348,000	188,328,000	184,441,000	188,405,000
	(うち外部委託費)(B)	78,151,000	78,151,000	78,151,000	77,331,000
	支出合計(C)	269,725,000	269,881,000	267,150,000	270,646,000
収支差額(A-C)		641,819	394,000	981,000	394,000
外部委託比率(B÷C)		29.0%	29.0%	29.3%	28.6%
利用者一人当りの経費		776	689	690	702

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年4月～24年3月 実施方法:来館者へのアンケート、回答数:1,856人
-------	--

単位: %

調査項目	十分	不十分	その他	
①施設設備の充実度	88%	3%	9%	
②施設設備の整備状況	88%	3%	9%	
③サービスの内容	82%	7%	11%	
④また来館したいか	83%	4%	13%	
各項目の平均	85%	4%	11%	

利用者の意見	<肯定意見> ・スタッフの対応、所蔵作品数の多さ、施設の清潔さ、展示の内容 <否定意見> ・照明の暗さ、開館時間、空調、館内導線への不満、エレベーター・キャプションの字の大きさ
利用者の意見への対応	運営の工夫等で解決できる事項については随時対応。 施設設備に関する事項等については長期的観点で検討。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	指定管理者業務仕様書に基づき年間計画を立案し実施、法規により定められているものは、法令遵守を前提として、専門業者を一括管理委託し、保守点検、警備、清掃等維持管理を効果的に行った。	業務仕様書、業務計画書に基づき適正に実施されていた。
運営業務	条例・業務仕様書・業務計画書に基づき運営業務を行った。仕様がない項目についても直営部門と都度協議し対応し、館一体となった運営体制を構築している。	業務計画書に基づき適正に実施されていた。
自主事業	継続実施している自主事業も内容をブラッシュアップして実施するなど、参加者の満足度向上に努めた。特に展覧会との関連性を高めた事業を実施することにより、展覧会の集客増にも寄与している。	業務計画書に基づき適正に実施されていた。
利用状況	大震災の影響があり伸び悩んだ観覧者数も夏以降盛り返し、目標・前年共に上回る集客を果たした。特に特別展「ムーミン展」では館内一丸となった広報活動を実施したこともあり、当初目標比258%の集客を記録した。	震災の影響があったにもかかわらず、様々な広報等が功を奏し、特別展など好評を博した。実績を様々な角度から分析し、今後の広報戦略等に繋げるよう要望。
収支状況	大震災に伴い年間を通じて節電対策を実施したため、電気代は大幅に減少。その削減分は施設運営・集客に必要な教育研修費や広報費に充当することで充実した活動を実施した。(三施設一括)	業務計画書に基づき適正に実施されていた。
利用者満足度	大震災に伴う節電対策のため、空調や照明等で利用者にご不便をおかけしたことが影響し、「十分」と回答される方が減少し、その分「その他」と回答された方が増加。「不十分」と回答された方の変動はないため、サービスの質の低下というよりは、若干の不自由さを感じられたことによる結果と思われる。	利用者の要望や苦情に関して、即時対応可能なものについては対応するとともに、それ以外のものは県と協議し、迅速に対応を検討することを確認。
運営目標の達成状況	常設展・特別展共に目標を上回り、全体でも目標を達成した。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	業務計画書に基づき適正に実施されていた。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	-	

7. 管理体制(組織図)

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園指定管理者

SPS・桔梗屋グループ組織体制図 2011年4月～

